|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(3)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年1月18日　週間祈りカード | | | |
| △産業宣教  伝道者を育てた産業人(Ⅰ列18:1-15) | △RTとTCK伝道学  世界の人材を RTS 弟子に(使 17:1, 18:4, 19:8) | | △核心  RTS弟子の使命 (使 1:1, 3, 8) |
| ▽神様が私に下さったこと、私の行く道、私が世界福音化することができるように完全に準備された（個人300%)。現場に行けば(伝道する時や産業する時) 300%になっている。時代に対する準備300%すべきだ。  △産業人がする一番大きなことは伝道者を育てることだ。レムナントには三つのことを教えてあげる。確実な私に対する絵があるようにすれば良い。(事業家、宣教師...)この絵を置いて3集中すれば3セッティングになって、外に出て行く前に3答えを受ける。そのことも完全に300%。  □序論\_ RT  創37:1-11ヨセフが幼いときに世界福音化を見た。残りの起こることはすべてみな過程だ。結局は、総理になって世界福音化をするようになったのだ。それゆえ、小さなことでも、伝道しに行っても、この300%が見える。  1.必ずすべきこと　2.必要なこと  3.未来 絶対　これから絶対なければならないことが見える。  □本論\_世界を動かした産業人が現場300%を味わったのだ。  1.エジプト時代  1)出2:1-10ヨケベデは絶対不可能の中に絶対可能を見た。  2)出3:18-20必ず契約は成し遂げられる。80歳になった年に神様がモーセを呼ばれたのだ。  3)出18:1-21このとき、最も重要な役割をした人がイテロだ。  2.ハンナ、エッサイ-ペリシテ(ナジル人)  正確な契約を握った。息子でなくナジル人。戦場にダビデを送って、しるしを持って来なさい。この人々は、ペリシテを正しく理解した。  3.アラムの国を正しく見た三人  1)オバデヤ最も重要な役割を果たした重職者産業人  2)エリヤ　3)エリシャ  1人が祈り正しく始めればエリヤも生かしてエリシャも生かす。  △レムナント、重職者、産業人が決断を下せば答えが与えられる。答えが与えられれば、答えについて行けば良い。  4.バビロンで、　5.ローマで同じ人々が歴史を起こした。  □結論\_絶対計画  皆さんに向かった神様の絶対計画が出てくる。そのときから過去は土台、今日は過程、未来は保証されている。  △すべてのレムナントは世界福音化する準備だけしなさい。すべての牧師はただ福音、ただ祈り、ただ伝道だけしなさい。重職者の方は無条件、この答え(絵| 3集中、3セッティング、3答え|300%)を受けて教会を生かす主役になりなさい。 | 「全世界の人材をRU、あるいはRTS弟子に」呼んで来て訓練させなければならない。  □序論   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 絵 | 7.7.7 | 学業 | | CVDIP | 集中 | 300％ |   △どのように絵を描くのか。すべての人が、全部あるのに、福音だけがなくて死ぬ時まで苦労する。これをcovenant、わざわいを受ける人と世の中、家系を見て、止めることをvision、24する契約を握るdream、神様の力で動いてこそ物事がなる神のかたちimage、永遠という作品を残すことpracticeと言う。これを7・7・7で集中するのだ。すると、私たちの学業に専門性、現場性、未来性が出てくる。これを300%準備しなければならない。  □本論\_理由  1.237か国を生かさなければならない。 | 1)侵略-強大国は引き続き侵略している。  2)後進国-奴隷として働かせて、人身売買する。  3)イスラエル-仕えている。  2.5000種族を生かさなければならない。  1)奴隷　2)捕虜　3)属国になっている。  3.流浪の民、難民、TCK,CCK,NCKを生かさなければならない。  1)使17:1パウロが会堂でキリストの当為性、必然性、絶対性を教えたのだ。  2)使18:4安息日ということは、祈りを教えたのだ。  3)使19:8答えとして、神の国を教えたのだ。  □結論\_奥義  私たちは戦わずに勝つ。それゆえ、産業人レムナントは確実な決断三つ、私の産業、現場、教会に決断を下しなさい。すると働きは始まる。 | 礼拝をささげるたびに、どこかの場所に行くたびに、神様は今、何の答えをされておられるのかを確認しなさい。教会ごとに多民族を生かすことができるモデルを作りなさい。  □序論  1.宣教の理由-暗闇  1)ウイルスの病気　2)霊的伝染病(わざわい) 　3)精神病  4)ネフィリムの病気(自殺)  集中癒やしチームを教会に作りなさい。金曜日は無条件に癒やしを専門化させなさい。癒やし礼拝をささげても良い。そうすれば、神様が力を与えられる。パウロがこのような病気になった人、三か所を治したのに、時代的な祝福が与えられた(使13、16、19章)。  5)中毒　6)分裂、紛争、戦争  2.現場  1)強大国にこのような病人がさらに多い。  2)弱小国(迷信に陥っている)  3.光をはやく照らさなければならない。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | タラント | 7・7・7集中 | 学業- 3庭300% |   祈りを少しだけすれば、タラントを発見するようになる。これを持って集中祈りをすれば、セッティングされて答えが与えられるようになる。学業が三つの庭を生かすほど、300%の答えを準備しなさい。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ミッション | 編集、設計、デザイン | 金土日-現場300% |   世の中に出て行く時は確実なミッションがなければならない。すると、この三つ(7・7・7)が続いて編集、設計、デザインされるようになる。すると現場300%になり、金土日時代に証人として行くようになる。すべての重職者は私が答えを受けたことを見つけて、会う人に証ししなさい。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 時代 | 御座、神の国、神の国のこと | 黙想時代-300% |   時代を見る答えを見つけ出すのだ。後ほど何をすべきか、伝道をどのようにすべきかが正確なほど、神様と方向が合うようになる。ここで背景(御座)が感じられる。神の国の答えが与えられる。成就する日が来る(神の国のこと)。すると黙想時代の主役になる300%の答えが与えられる。  □本論  1.過去-光を持って過去を変えるようになる。  2.今日  1)解放(コロ1:13) -すでに暗闇から出た。  2)味わう(使1:1-8) -三位一体の神様の奥義が私たちの中にある。  3)再創造される(Ⅱコリ5:17)  3.未来が出てくる。7やぐら・旅程・道しるべだ。24・25・永遠、プラットフォーム・見張り台・アンテナ、癒やし・サミット・300%という。  △答えが与えられると未来の心配をする必要はない。私の主張、私の計画も必要ない。問題が来たのか。味わって待ちなさい。病気になったのか。戦うのだ。神様の計画は聖霊の満たしだ。必ず神の国のことが成し遂げられる。 |
| △散らされた弟子たち  RTS世界組織 (マタ28:16-20) | |
| 1.力-天、地、すべての権威  力がある者は生かすことができる。「天と地のすべての権威を持ってあなたといつもともにいる」権威、これが私たちの力だ。権威の特徴は使わなければならないのだ。権威はキリストの御名によって使うのだ。わたしの名で悪霊を追い出し。  2.方法-弟子  世界福音化の方法は弟子だ。「行って弟子としなさい」イエス様が言われたみことばだ。  3.背景- WIO  「世の終わりまで」私たちとともにいると言われた。WITH、インマヌエル、ワンネス。これが私たちの背景だ。 | |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(3)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年1月19日　週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ第3週  最高のことを所有(マタ16:20) | △聖日１部  一人で残ったヤコブ(創32:23-32) | | △聖日２部/国内伝道委員会献身礼拝  生かす光を受けた者(創37:1-11) |
| マタ16:16、J = X -最高のメッセージ  「あなたは生ける神の子キリストです」イエスがキリストだ。これは最高のメッセージだ。  □序論  1.マタ17:1-9変貌山に上がって、モーセ、エリヤ、キリストを見て家を三つ作ると言った。間違った考えだ。モーセもエリヤも来られるメシアを見て救われた。  2.マタ18:1-10弟子が私たちの中でだれが一番偉いのかというと、イエス様が子どもたちを祝福された。弟子は福音を正しく理解できなかった。  3.ヨハ21:15-18逃げたペテロを探して祝福されて、「あなたはわたしを愛しますか」と尋ねられた。  □本論  1.カルバリの丘(ヨハ19:30) - 「完了した」私たちの運命がひっくり返った。  1)マタ28:16-20天と地のすべての権威を持って、いつもあなたがたとともにいます。  2)マコ16:15-20わたしの名で祈れば悪霊が追い出されて、病んでいる者に手を置けば癒やされる。  3)ルカ24:13-35復活を疑ってエマオに行く弟子の目を開いてくださった。  2.オリーブ山  1)使1:1 -復活されたのでイエスがキリストであることが確認できた。  2)使1:3 -神の国について御座の背景を説明された。  3)使1:8 -地の果てというミッションを与えてくださった。  3.マルコの屋上の部屋  1)三つの祭り-神様の聖霊の力、特に三つの祭りの力を体験するようになる。  2)力、門、時刻表-五つの大きな力、門、時刻表が見える。  3)未来-子どもは預言し、老人は夢を、若者は幻を見る。  4.アンティオキア  1)ステパノの患難に勝った者にまことの祝福を与えられたのだ  2)大勢の弟子を送る。  3)宣教の門を開けた。ここにパウロを送った。患難を恐れてはならない。私たちの無能も大丈夫だ。ただ聖霊によってできるので。  5.使13:1-12宣教地に送ったが完全に暗闇文化が崩れてしまった。  6.使16:6-40ネフィリムを砕く働き。イエスの御名で悪霊につかれた者を治す。  7.使19:1-21ローマも見なければならない。ここは237か国がある。私たちと次世代が受ける祝福は、237、5千種族と合わなければならない。  □結論  1.やぐらが建ってこそ生きる。神様のやぐらが建ったのだ。  2.旅程-このやぐらを持って、それからは旅程を進むのだ。  3.道しるべ-私たちの次世代が見て分かる。また、来ている、来る多くの時代の人が道を分かるべきなので、道しるべを建てるのだ | □序論  1.福音-キリスト　1)神様に会うようにする道である真の預言者  2)すべてのわざわいを防ぐ真の祭司　3)サタンの権威を滅ぼされた真の王  2.信仰が生まれて祈り始める。祈るとき、質問だけしたのに答えをくださった  1)伝道できない理由、貧困と病気の理由を質問  2)なぜこのように牧師が多いのに、教会は門を閉めるのかを質問  3)私をここに送られた理由-全地域伝道運動、弟子の答え  4)神殿を作らなければならない理由-三つの庭  5)祈りの答えを受けられずにいる教会信徒-福音と伝道に胸が燃え始め  3.ヤコブが一人で残った-重要なことを悟って見つけ出す時刻表  1)エサウとの葛藤-長子の権利、父をだまして受けた祝福の祈り  2)ベテル-御使いの活動、神様がともにおられ、戻って来るようにすることを約束  3)叔父の家-財産戦い　4)ヤボクの渡し場-神様の前に祈り、人生を決断  □本論\_ヤコブが握ったこと  1.根本的なミッション-あなたの名をイスラエルとしなさい(全世界を生かして勝利)  1)契約的な祝福-わたしがあなたに示す地に行きなさい(契約について行きなさい)  2)根源的な祝福-あなたは祝福の根源になる  3)代表的な祝福-あなたによって　4)記念碑的な祝福-あなたの子孫によって  5)不可抗力的な祝福-あなたに立ちはだかる者がないようにする。  2.家系のミッション  1)アブラハム-神様と人と戦って勝つ勝利者、敵の門を勝ち取ること  2)イサク-雄羊、あなたの子孫によって世界中の国々が祝福、100倍、レホボテの祝福  3)創25:23神様が初めからヤコブを選んで呼ばれた  △神様は皆さんの責任を300%負われる。  3.私に与えられたミッション-ヤボクの渡し場の時刻表  1)皆さんに答えられる神様に祈りなさい。霊的世界がひっくり返る。  2)神様が御使いを送って、ヤコブを祝福して力を与えられた。  3)イスラエルという名前をくださった。  ※祈りに答えられる過程-主の聖霊が働けば、主の使いを送って神様の作業を今、成し遂げられる(創28:10-22、黙8:3-5、創32:23-32)  △私の人生に最も重要なことを神様の前に祈りなさい。  □結論\_祈るときに起こること  1.目に見えないように三位一体の神様が聖霊で働かれる。  2.御座のやぐら、旅程、道しるべが成し遂げられる。  3.二つのこと-暗闇の勢力が縛られて、主の御使い派遣=神の国  1)ヤコブ(創32:23-32)　 2)アブラハム(創18:1-10) 　3)モーセ(出14:19)  4)ヒゼキヤ(Ⅱ列19:35) 　5)初代教会(使12:1-25) | | □序論\_光-最も難しい、そのときに神様がヨセフに世界を生かす光を照らされた  1.暗闇-光の反対語。困難を見て揺れる必要はない。  1)創1:2暗闇の中で生きて、混沌、空虚、暗闇を分かった  2)イザ60:2闇が地を覆って、暗黒が諸国の民を覆う  3)創3、6、11から始まる、サタンが偶像神殿、偶像、宗教を作って死ぬようにさせる。6つの罠に引っかかるようにする  △暗闇は光が入ってくればなくなる。ヨセフはこれを幼いときに体験したのだ。その後に苦しみが来たが揺れなかった。  2.光を送られる  1)創1:3創造の光  2)創60:1起きよ。輝け。主の栄光があなたの上に輝いているから  3)ヨハ1:11イエス様が光として来られた。  4)マタ5:14あなたがたは世の光  5)Iペテ2:9選ばれた民、聖なる国民として呼ばれた理由はこの光を現わすため  □本論\_太陽、月、星がお辞儀をする-いのちの光を伝える確実な光を見た  私が世界生かす光を見れば、その時から神様と方向が合うようになって、わざわいに勝つ力が与えられる。主がすべてのことにおいてあなたを祝福されるのだな。それが伝道の基準。伝道するとき、答えから先に受けるのだ。宣教するのは、神様が祝福から先に受けるようにするのだ。  マタ28:18-20、マコ16:15-20先に与えられた。皆さんは暗闇から解放された。皆さんの中には、ものすごい7・7・7の答えと祝福が来ている。必ずこれに対する道が出てくるようになっている。その道について行けば良い。  1.光のやぐらが先に作られる。  1)エジプト福音化　2)世界福音化　3)家系福音化が起こった。  △契約を握る瞬間に、答えから来る。それについて行けば良い。  2.光の神殿が先に作られる。ヨセフが行く所に3つの庭があった。  1)多民族を生かす。　2)癒やす。　3)次世代を生かす。  3.光の経済を先に受けるようにさせる。  1)ポティファルの家-レムナントが行く所に光の経済が臨む。  2)王の前に立つ-エジプトを生かした。  3)総理-世界経済を生かした。  伝道は答えを先に受けることだ。宣教は神様のまことの祝福を先に受けることだ。その道に従って行くのだ。私たちは完全にのろいから解放された。救われたのだ。私たちの中にはTrinity三位一体の神様が霊で働いておられる。私と職業と教会の主人は神様だ。  □結論  1.確信を持たなければならない。  1)夢に出てくるほど　2)兄たちがののしるほど　3)父親が叱るほど  2.苦難が来るとき-重要な答えが与えられた。  3.答えが来るとき-ただ主、ただ宣教 |